

保護樹林

※樹高・幹周・樹齡は指定時の数値です。

指定第 19 号 八幡神社

川合寺町

当神社は、愛知川の河辺林のなかに建造されたもので、周辺の樹林はそのまま残し、防風林、防火林として保護育成されてきた。このことから、我々の先祖は自然を上手く利用していたことがうかがえる。河辺林の代表的な樹種であるケヤキは、推定樹齡が250年にも及ぶ立派なものが多数ある。また、比較的目につくヤブツバキは、別名ヤマツバキともいい、日本の文化をはぐくんできた照葉樹林を代表する樹木である。 面積:958 m² 指定:昭和 61 年

